

河北潟だより



令和元年8月22日発行
 < 発刊所 >
 北陸農政局河北潟
 周辺農地防災事業所
 〒920-0292
 石川県河北郡内灘町
 字大学1丁目2番地1
 (内灘町役場6階)
 TEL : 076-282-9640



令和元年8月5日 事業所開所式を開催

石川県、金沢市、かほく市、内灘町、津幡町、河北潟沿岸
 土地改良区、河北潟干拓土地改良区及び北陸農政局の関係者
 45名の出席の下、開所式が行われました。式典に先立ち、
 森澤北陸農政局長と事業推進協議会長である山野金沢市長に
 より看板の上掲が行われました。式典では、森澤北陸農政局
 長による式辞に続いて、石川県の遠藤農林水産部長及び山野
 金沢市長から祝辞を頂いた後、山本事業所長から事業概要が
 説明されました。式典を通じて、本事業に対する地元関係者
 からの強い期待が寄せられ、職員9名は事業の実施を通じ
 て地域の発展に貢献する決意を新たにしました。

祝 北陸農政局
 河北潟周辺農地防災事業所 開所式



開所式での事業概要説明（一部抜粋）

本地区は、石川県のほぼ中央部に位置する金沢市、かほく
 市、津幡町及び内灘町にまたがる河北潟干拓地及びその周辺
 に広がる、3145haの農業地帯です。
 本地区の営農については水稲を中心に、大豆、大麦、野菜
 等を組み合わせた農業経営や、地域の特産として、市場での
 評価の高い「加賀れんこん」、小松菜をはじめ、キャベツ、
 すいか等の野菜やなし、ブドウなどの果樹のほか、県内の牛
 乳生産の約5割を占める酪農経営など多様な営農が展開され
 ています。



森澤北陸農政局長と山野金沢市長
 による看板上掲の様子

本地区はかつて、戦後の食糧増産を目的として実施された
 国営河北潟干拓土地改良事業及び干拓附帯土地改良事業によ
 り、河北潟の約3分の2に渡る農地の造成と複数の用排水機
 場や河北潟放水路防潮水門などの整備が行われ、現在ある農
 業生産基盤の構築が図られています。特に干拓地におきまし
 ては、昭和45年の稲作転換政策による土地利用計画の変更が
 なされた中で、地元農業者やその関係の皆様の不断のご努力
 により、現在のような県内有数の大規模畑作地帯の形成が図
 られて参りました。

しかしながら近年、干拓地及びその周辺農地等の地盤沈下
 や都市化の進展による流出形態の変化、降雨形態の変化など
 に起因しまして、地区内の排水機場や幹線排水路等の農業水
 利施設の排水機能が低下し、湛水被害が頻発しています。ま
 た、河北潟放水路防潮水門については、現在から約45年以上
 前に造成された古い施設のため、現状で必要とする耐震性能
 を有しておらず、大規模地震により損壊した場合は、その排
 水機能や防潮機能が喪失することになり、農地のみならず周
 辺地域に甚大な被害を及ぼす恐れがあります。

このため本事業で、干拓地内3ヶ所、周辺地域6ヶ所の計
 9ヶ所の排水機場につきまして、沈下した地盤条件や、現状
 の降雨強度と流出形態に対応した機能を備えもつ新たな排水
 機場を現施設に隣接して設置するとともに、併せて干拓地内
 の幹線排水路3・2線を拡幅することにより排水能力の強化
 を図ることと致します。また、河北潟放水路防潮水門につい
 ては、大規模地震に対しても致命的な損傷を与えない性能を
 備えるとともに、機能の強化が図られる各排水機場からの排
 水容量にも対応できるよう、現施設より堰長を拡幅し、排水
 能力の強化を図るほか、2段式ゲートの設置により、河北潟
 の水位をより調整し易くする機能を備えたものとして、現施
 設の上流に新たに設置することと致します。併せて、水管理
 施設の構築により、これまでの施設管理者の排水管理労力の
 軽減と維持管理費用の負担軽減を図ることと致します。また、
 これらの対策と併せ、関連事業による排水機場の更新整備に
 より、地域全体の排水機能を強化し、湛水被害の軽減を図り、
 農業生産の維持及び農業経営の安定を図り、併せて国土の保
 全に資することを目指すものです。

本事業の総事業費は390億円を予定しており、令和元年
 度から13年度までの13年間の工期で事業を進める計画とし
 て、この8月1日に事業所を開所し、職員9名でスタートし
 ました。

事業の実施にあたりましては、本日ご臨席を賜りました皆
 様方の一層のご指導ご鞭撻をいただきたくお願い申し上げます。

所長 山本 昌也